

# 誰もが誇れる「安全で健康な職場」を実現しよう!

『CSR報告書』で謳う「ずっと働きたい職場」を現実のものに



「淡路花ささぎ」

# はぐるま

日本共産党  
川崎重工委員会

困ったときはお気軽  
にご相談ください

内容は口外しません

TEL : 341-3235

FAX : 341-3236

メールアドレス

spum69u9@pony.  
ocn.ne.jp

ご意見や投稿など  
もお寄せください

ホームページ [http :  
//www.jcp-kawajyu.jp/](http://www.jcp-kawajyu.jp/)

携帯サイト [http :  
//www.jcp-kawajyu.jp/i/](http://www.jcp-kawajyu.jp/i/)



会社は、8月に『CSR報告書2011』を配布しました。その中の「ずっと働きたい職場」の項では、「従業員の安全と健康を守る」とは、企業の重要な使命」と表明しています。まったくその通りで、私たちの目指す内容です。

「安全と健康を守る」の謳い文句と現実とは大きな隔たりが

しかし、いま職場はたいへん深刻な状態です。

労働災害やメンタルヘルス障害は、昨年に比べ大きく増加しています。とくに西神戸工場では、10月に入り災害が多発。傷病休業件数(休業4日以上)は、年々増加しており、3年前に比べ1.6倍の644件で、その内約2割がメンタルヘルス障害。

在職死も全体的に増加傾

向にあり、正社員では昨年16人、件数内訳の第2位が自殺(3人)でした。

セクハラ、パワハラ、それに正規・非正規社員間で暴力事件も起きています。

このように、現実の職場は、「安全と健康を守る」の謳い文句とは大きく隔たり、職場は病んでいます。

この隔たりの原因はどこに?

それは、職場の現実の業務では、労働者の「安全と健康」より、会社の「収益性」「納期」が最優先されているからです。

たとえば、常時必要とする業務は、正社員をあてるのが当然なのに派遣・契約社員を雇い入れ、仕事の山谷で平然と「雇い止め」しています。

非正規社員は、極端な低

【2頁へ続く】

## 大河

野田内閣の「国の形を変えてしまおう」大暴走が止まりません。

政府は、11月中旬のAP ECで、TPP(環太平洋連携協定)交渉への参加を表明しようとしています。TPPは、農業と食料だけでなく、暮らしと経済のあらゆる分野をアメリカに売り渡すものです。

さらに、年金支給開始年齢の先延ばしとG20での消費税10%表明、普天間基地の辺野古移設の推進：：日本は、戦後一貫したアメリカ・財界中心の政治が続けられてきたため、国内需要は減少し、貧困と格差が拡大し深刻なゆきづまり状況にあります。いまその根本的打開をめぐり、歴史的決着のたたかいに直面しているのです。

野田内閣は、アメリカ・財界の「使い走り」という本性をあらわにしたと言えるでしょう。

「国民こそ主人公」、歴史をつくるのは私たちです。さあへ1%の大金持ちが支配し、99%が犠牲となる社会でいいのか? We Are The 99%の声で列島騒然を。

【1頁より】

賃金のため、なかには掛け持ち・休日もバイトという人もいます。正社員は、人員削減と成果主義賃金のもとで、際限のない長時間労働をしいられています。

非人間的な「使い捨て」労働と成果主義賃金によって、労働者の連帯と技術・安全の蓄積が阻まれ、職場を病んでいる状態にしているのです。

このような無法・不当状態の背景には、人間らしく働けるルールが確立されていないことがあげられます。そこには、労働組合の最低限の役割である会社のチエック機能の弱体という問題があります。

会社は職場に「潤いを持たせ、緊張をほぐす」責任がある

平成4年、当時の労働省は、『事業者が講ずべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針』を告示し、その中で、「職場は、労働者が一定の時間を過ごしてそこで働くものであることから、生活の場としての潤いを持たせ、緊張をほ

ぐすよう配慮する」よう指導しています。

会社には、セクハラ・パワハラの一掃や、適切な労働時間の管理はもちろんのこと、たとえ労働者が何らかの持病を持っていたとしても、それを悪化させないようにする配慮義務があるのです。

正社員・非正規社員が連帯し、誰もが誇れる職場の実現を

労働省の同『指針』には、「快適な職場環境の形成を図ることは、労働者の有する能力の有効な発揮や、職場の活性化にも資する」と述べています。「安全で健康な職場」＝快適職場の実現は、必ずや企業の健全な発展にもつながります。

まずは正社員が声をあげ、非正規社員との連帯をつくり、「雇用は正社員が当たり前」「人間らしい労働のルール確立」を目指し、誰もが誇れる職場の実現に取り組んでいきま



若い世代が安心して働ける職場を目指して

今、職場の若い世代からは、「休暇の取りやすい職場を」「結婚して子育てできる給料を」「会社の次世代育成支援制度を利用しながら働き続けられるのか不安です」などの声が聞かれます。

若い世代の男女が、青春を楽しみ、家族的な責任も果たしながら、安心して働けるようにすることは、日本と企業の未来にとって格別に重要です。

不安定雇用と長時間労働、低賃金の是正が急務

その条件を保障すること、企業の重大な社会的責任です。

具体的には、以下のことを求めます。

- ・非正規社員の正社員化をすすめる、安定した雇用を保障する。
- ・サービス残業の根絶とともに、残業時間の上限規制をはかり長時間労働を改善する。

60歳以上の賃金制度 年齢による差別をなくし、さらなる改善を！

川重では、労働者の声におされて、今年4月より、60歳以上の賃金制度が一步改善されました。

エルダー階層では、G・S系列がL・S手当復活し、R系列は職能給基本額が一万円余り加算されました。

しかし、仕事内容や責任が前と同じなのに、60歳になったという理由で、賃金が大幅にカットされるといふ問題は依然として変わっていません。

同一労働・同一賃金の「均等待遇のルール」を

以前にも述べましたが、労働基準法では、使用者による差別待遇を禁止し(第3条)、男女の同一労働同一賃金の原則を明確にしています(第4条)。また、

国際ルールは、性差別だけでなく、人種、皮膚の色、年齢、等々を理由とした差別を受けることなく平等に働く権利が確認されています。



そして、欧米では、年齢を理由にした雇用や賃金など、労働条件について差別することを禁じています。

年齢による賃金差別を一刻も早くあらため、同じ労働には同じ賃金を保障する「均等待遇のルール」を確立すべきです。

これは、技術・技能の伝承と職場の活性化にも必ずやつながるでしょう。若い人たちも一緒にあって、60歳からも安心して働ける処遇改善を実現していきましよう。



## 労働組合について考えてみましょう

労働組合には、労働者の生活を守るという重要な役割があります。

雇用と生活が脅かされている今日、労働組合とは私たち働く者にとってどのような存在なのか、原点に戻って考えてみたいと思います。

### ○労働組合はどんな組織？

労働者が主体となって、政党の支持や思想・信条の違いを超えて、賃金、労働時間等の労働条件を向上させることを目的とした、自主的な組織です。労働組合は、性別、年齢、学歴、思想、信条のいかににかかわらず、すべての労働者に門戸を開放しています。

### ○労働組合の基本原則ってどんな内容？

労働組合の基本原則は次の3点です。

- (1) 要求で団結  
労働条件を向上させるなど一致した要求で労働者

が団結することで大きな力を持ちます。

### (2) 資本からの独立

労働者の要求を実現するうえで資本家とたたかわなくてはなりません。労働組合の選挙に経営者側が介入することは許されません。

### (3) 政党からの独立

特定政党の政治的見解で引きまわしたり、特定政党のために選挙運動を行ったりするのは、重大な誤りです。

組合員の政党支持の自由、政治活動の自由を保障しなければなりません。

これらの基本原則を守ることによってこそ、労働組合の団結を守り、団体交渉権を力に労働者の立場に立って、職場の要求や労働条件などの改善を前進させることができるのです。

### ○労働組合の公的・社会的役割ってどういうこと？

憲法第28条が、団結権（労働者が団結する権利）・団体交渉権（労働者が使用

者と交渉する権利）・団体行動権（労働者が要求実現のために団体で行動する権利）を保障したのは、労働組合が労働者全体を代表して、労働者全体の向上を目指すことを期待しているからです。

したがって、労働組合には、労働者全体のために活動するという社会的・道義的な責任があります。

現在では、川重でも派遣労働者や契約社員などの非正規労働者の比重が増えており、立場の弱い彼らの生活と権利の向上を目指すことが求められています。

そのためには、非正規労働者の組織化（組合員化）、さらには、労働者の生活に直結した消費税の増税や社会保障の改悪などにも反対し、その充実を求めるたたかいにも取り組むことが必要です。

まさに今が労働組合の出番です。（続きは次号で）



## 読者の広場



### 新館へのお引越

最近、朝晩涼しくなり過ぎやすくなりました。10月はスポーツをするにもいい季節です。神戸でも昼休みにジョギング・散歩・テニス・キャッチボールなどいろいろされています。

ただ、以前5号館の地下には、シャワー室、手洗い、ロッカー室には物干しもありました。

新ビルには何もありません。運動のあと手洗いや顔洗いもできず、汗まみれのシャツもロッカー内に入れるしかありません。これって、どうかな？

(神戸・K)



### 明石工場食堂のテレビ

(続報)

NHK朝ドラ「カーネーション」の昼の再放送が観られずさみしい限りである。食堂のテレビは、あれ以来、電源が入らず3ヶ月が過ぎてしまいました。その食風景は、牧草をはむ羊のように静かに食事をしています。

そして、窓越しに見える木の葉のささやきと流れる雲を目で追いながら食事をしています。テレビ離れが進んでいるのでしょうか。新工場をボンボン建てる

のに、社員が利用する食堂には薄型テレビの一つも設置できない。どこかに気の利いた役員はいないのか。

《あとがき》  
10月27日、ついに買い替え！と思いきや。

古すぎるテレビに粗末なチューナをつないでも観るテレビ、なんともわびしい限り。とほほ・・・

(明石・地デジ難民)



### 尾頭付き?

10月15日は川重の創立記念日です。昔はこの日の昼食には、小さいながらも「尾頭付きの鯛」が供されていたものでしたが、今年は何と「ミニたい焼き」がビニールの袋に入ってお皿に載っていました。なんとも味気ないというか、寂しい気持ちになりました。

(兵庫・M)



## 最近のニュースから

### “全国青年大集会” 未来を開く99%に連帯

10月23日、東京明治公園で開かれた全国青年大集会に、全都道府県から4800人の若者が集いました。

2003年から始まり今年で7回目の集会は、アメリカと韓国の青年達も参加し「99%の人々のためにたたかおう」とウォール街の行動に連帯を呼びかけました。

そして、「日本をかえるのも、私たち若者の連帯と行動です。被災地と心ひとつにし、力をあわせて職場も、政治や社会もかえていきましょう」とアピールを採択しました。

### なくせ原発 ふるさと返せ 福島集会 1万人超

福島市で開かれた「10・30大集会」は、“こわされたふるさとでの平穏な暮らしを返せ！ 政府と東電は責任をとれ”との訴えが響き合う、1万人を超える原発事故後最大の集会となりました。

壇上に立ったJA福島会長、飯館村長、前福島県知事、日本共産党志位委員長らは、それぞれ「安心して住み続けられる福島」「原発ゼロの日本」と訴えました。

しかしこれだけの思いが詰まった集会を、大手マスコミのみならず、殆どのマスコミが報じないのはなぜでしょうか。政府、電力会社に関与した「やらせ」発言で原発の安全神話をふりまき、反対に現実を意図的に報じないようなことがあってはならないと思います。

災害の多い日本。今年に入ってから悲惨な自然災害が多いです。

神戸では、ときどき避難訓練をします。とても大事なことだと思えます。訓練の経験がいざというときに生かされます。

でも・・・この訓練に私は一度も参加したことがありません。なぜって？ それは電話番号をしてほしいと言われるからです。

派遣だから？ 女性だから？ 訓練にも寄せてくれないのですか？ いざというときも私は、電話番号をしないといけないのでしょうか？

(神戸・O)

先日、社内で“次世代育成支援制度のご紹介”という冊子を見ました。色々な制度があり、恵まれていて驚きました。私は派遣なので、育児休業は男性も取得できると書いてありますが、女性の私たちが利用できるないので、がつくりです。(近い将来、子供が欲しい乙女より)

## はぐるま時事川柳

大震災復興よりも

総理のいす

播磨・T

掲示板節電のなか

字が読めず

ひかり明子

### 投稿のお願い

未発表の自作品を3句以内で、必ず氏名(ペンネーム可)を記入し、FAXあるメールアドレスをお願いします。

## 震災募金 受けつけています

郵便振替

【口座番号】00170-9-140321

【加入者名】日本共産党災害募金係

通信欄に「震災募金」と記してください。なお、手数料はご負担をお願いします。